

風薫る五月、夏の装いを深めた25日(土)に深志舞台9台が松本駅前にて展示されました。

J R松本駅主催による「松本駅前広場ふれあいデー」というイベントによる出演で、駅正面に向かって左側のシルター通路の内側に6台、駅前公園・播隆上人像の近くに3台の舞台が並びました。

駅前広場では朝9時過ぎの開会とレモニーから始まり、中・高校生によるブラスバンド演奏やミュージカ大会などが催され、お祭りやロードで華やいていました。舞台は展示だけでしたが、会場の雰囲気を引き締めて、大変良い存在感があつたと思います。

また当日は梟の森でクラフトエアが開催されており、市内は大きな人出で賑わいました。列で県外から松本を訪れた人も多く、駅前には並んだ舞台には松本には、こんなものであるという、驚きと讃嘆の声が寄せられていたそうです。

業110周年記念と銘打たれていました。実は昨年「松本駅周辺整備事業完成記念」と「駅開業110周年記念」という二回の記念イベントがあり、舞台も出場したので、花を添える予定だったのですが、ともに雨天のため舞台展示は中止になってしまいました。年が代わって今回、三度目の正直でようやく駅前に舞台展示ができたわけです。朝から清々し

舞台保存会が達成されない平成十年、当会の舞事業は東日本鉄道文化財団支援対象事業と認められ間に亘り、多額の助成金間がきまされた。この事業が基金となり「平成の舞」がスタートした。主に舞台修復のための貸や補助、そして学術的舞台調査のために使われた。その結果、今年までに14台の舞台が修復を終え、事業はまもなく完了を見ようとしている。もし助成金がなかったら修復事業自体が始

A photograph of a traditional Japanese festival float (danjiri) decorated with a purple cloth, red and white striped banners, and various ornaments, including a large white figure and a black structure with white flags.

入魂 清祓い式は6月27日。この社報が発行される頃には神事も済み、天神まつりでのお披露目を待っていることでしょう。

本町4丁目舞台は隣の5丁目舞台とよく似ており、姉妹車と云えます。ともに明治初めごろの

まづいなかっただかも知れませんが、JRとその文化財団には深く感謝すると共に、これからもこうしたイベントに参加し、深志舞台の存在をアピールしてゆきたいと思っています。

建造とされますが、構造が簡素で二階層根や、支輪部の小屋根もありません。彫刻も全くなく、舞台自体に装飾という意図が見られません。その代わり大変立派な形を積載しています。

4丁目の人形は「神功皇后」です。華やかな甲冑を身にまとい、弓矢を手に、海の彼方に向け、まさに出陣する姿です。たいへん存在感のある人形で、本町4丁目舞台といつて想い出さない人も、女武者人形の載つた舞台と言えさ、すぐにイメージすることができれば、よいでしょう。

今回この人形も修復されました。甲冑装束も鮮やかに甦り、神功皇后は凛々しさを増しています。天神まつりでの出陣を楽しみにお待ちください。

深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとは隔年となります。
 本年は東(清水)先回りです。

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとが隔年となります。
 本年は東(清水)先回りです。

お旅所
 清水東公民館 16:15着
 17:00発

清水西
 15:15着
 16:00発

お注連についてお願い
 町内に張られた注連縄を取り外すのは
 お神輿が通られた後としてください。

お神輿をお迎えしましょう

- ◆一年に一度のご神幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様の生活をご覧になると共に、氏子の方々が神様を身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。
- ◆中心市街地を巡られる元禄神輿は松深会の万燈神輿のあとに、また氏子全域を巡られる車載のお神輿は先触れの広報車が通って間もなく参りますので、家族そろってお迎え、おまいりください。家族の平安な姿こそ、神さまがもっともお喜びになります。

【前夜祭】 7月24日(水)

17:00～	舞台曳き込み
17:00～19:00	日本舞踊奉納
19:00～	前夜祭神事
20:00～	詩吟・剣舞奉納

【例大祭】 7月25日(木)

11:00～	例大祭神事
13:00～	穂高太鼓奉奏
14:00～17:30	御神輿御巡行
15:00～	お囃子スクール(演奏発表会)
15:30～	舞台出発

A photograph of a traditional Japanese festival float (danjiri) at night. The float is ornate, with a dark wooden frame and a roof. It is covered in numerous small, glowing lanterns, creating a warm, festive atmosphere. The float is positioned on a street, and the background is dark, suggesting it is nighttime.

A photograph of a traditional Japanese shrine building, likely the main hall (Honden) of the Tama-no-Hime Shrine. The building features a prominent red wooden frame and a white, gabled roof. It is situated on a raised platform with a wooden fence. The surrounding area includes trees and a paved courtyard.

7月14日(日)・15日(月)

八坂祭は、梅雨があけ夏を迎えるに際して病氣除けや虫封じなど子どもの健やかな成長を祈る祭です。

14日の宵祭には霞につけた五色の幟を奉納する多くの子どもたちで賑わい、あわせて家族で家内安全を祈る姿が見られます。

三百年ほどの前の元禄13(1700)年、松本地方に疫病が流行した時に疫病除けの神として信仰を集めて

いた尾張の津島神社(天王社)から分霊をいただいて祀られ、明治までは牛頭天王社と称されました。

なお、五色の幟紙と霞はスーパ八百屋、魚屋などや当社でも扱っています。

(当例)

昔の写真を探しています！

来年の天満宮御鎮座四百年を迎えるに当たって、神社誌の編纂を進めています。

それにあわせ、皆様方が持っておられる、次のような写真を探しています。

境内・社殿・天神祭・神輿巡幸・町会
舞台・深志公園・神社周辺の様子、
その他。

主殿 (Katsuragi Shrine)

拝殿・神楽殿(上)
正面参道右鳥居(下)

なお、参考として関連する昔の写真をいくつか下に掲げます。

絵葉書 昭和3年頃か

葉書他）・史料（記録・文書）・記念品
なものでも結構ですので、ご連絡い
です。（連絡先、社務所）

このように
れば幸い

お神輿をお迎えしましょう

◆一年に一度のご幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様の生活をご覧になると共に、氏子の方々が神様を身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。

◆ 中心市街地を巡られる元禄神輿は松深会の万燈神輿のあとに、また氏子全域を巡られる車載のお神輿は先触れの広報車が通って間もなく参りますので、家族そろってお迎え、おまいりください。家族の平安な姿こそ、神さまがもっともお喜びになります。

A black and white photograph of a crowded street festival in Japan. A large crowd of people, many wearing traditional kimonos and hats, is gathered on a street lined with traditional buildings. A large, ornate float or palanquin is visible in the center of the crowd. A sign with Japanese characters is visible on the right side of the street.



ふかし

深志神社社報 第16号

深志神社は信州松本城下
南深志の地四十八ヶ町
氏子の守り神さまです

平成25年夏号

《平成24年天神まつりの様子》



25日 神楽殿での子供たちのお囃し



天神通りを練る元禄神輿



拝殿前に還御した二基の神輿



24日夕 境内に曳き込まれる町会舞台



境内に並んだ舞台



宵祭りでの舞台

去る三月四日、安全祈願祭を行ったのち工事が始まりました。
工事は、①参道石畳・拜殿前西正面北へ改修、②駐車場（梅風閣前・元清沢家跡）整備、③通路舗装改修、④神苑・樹木整備、⑤その他（外灯設置・石玉垣補修他）となっています。
工事は順調に進捗しており、本年七月の天神祭りまでには、ほぼ予定通りに終了する見込みです。お参りの際に、あらたまった境内の様子をご覧いただきたく存じます。



【③】手水鉢移設



【②】工事業内板設置



【⑥】総代へ説明



【⑤】神楽殿前・脇石畳改修後



【⑨】北参道整地中



【⑧】清沢家跡地・本町五丁目石垣改修中



【①】工事安全祈願祭 3月4日



【④】拜殿前石畳改修中



【⑦】正面・表参道石畳改修後



《元日 社頭の賑わい》



《二月十一日 建国祭》



《一月八日 産業安全祭》



《二月六日 祭式研修会開講式》



《一月十九日 松本山雅参拝》



《三月二十九日 奨学祭》



《節分祭 豆撒》



《節分祭 豆炒式》



《五月二十五日 楠公祭》



《五月七日 絵馬焼却式》



《4月上旬 神苑の梅》

写真で見る
深志神社の半年間

ふかし 深志神社社報 第16号
発行日 平成25年6月25日
発行所 深志神社社務所
〒390-0815
松本市深志3丁目7番43号
電話 0263-32-1214
FAX 0263-32-5908
http://www.fukashi-tenjin.or.jp
印刷 (株)日本広告

(4,000部)